

南地域担当圏域包括ケア会議 まとめ

《 テーマ 》

高齢者を地域で支えるために、今ある資源の活用や地域でできるサポートを検討する

《 地域課題 》

南地域は他の地域に比べ活用できる資源が少なく、ボランティアやシルバー人材等の担い手も不足している状況である。新たな資源やサービスの創出が難しい中、今ある資源を活用し地域でできるサポートは何かについて検討した。

《 内容 》

地域性もあるため、地区でグループを分け検討。第1回の会議では、テーマをイメージしやすいよう架空事例を使い、「困っていそうなこと」「必要な手助けは何か」「既存の資源では補えない部分はあるか」「どうすれば解決できるか、地域でできること」について話し合った。

本人をはじめ、見守りをしている地域住民が、緊急時の対応に不安がある等の意見が挙がり、それに対して第2回の会議では、一人暮らしの方、高齢者世帯、障がいのある方等が何かあったときに、判断材料の一つとして利用できるよう『あんしん帳(案)』を作成しその内容について検討した。

《 成果 》

会議で検討した意見をもとに、包括で『あんしん帳(案)』を作成した。(別紙参照)

《 課題 》

昨年度の会議で出た意見を参考に『あんしん帳(案)』の見直しを行い、活用に向けて検討していく。(実施方法、実施時期、対象者、モニタリング等)